



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 進一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,056	△68.8	△563	—	△345	—	△333	—
2022年3月期第1四半期	3,388	2.0	328	45.8	349	42.2	217	33.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △138百万円( —%) 2022年3月期第1四半期 358百万円( 102.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△24.23	—
2022年3月期第1四半期	15.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	18,021	11,022	60.0
2022年3月期	17,371	11,298	64.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 10,829百万円 2022年3月期 11,128百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	△21.0	100	△74.4	100	△76.6	60	△76.9	4.36
通期	11,000	△1.2	800	79.2	800	11.5	480	1.0	34.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	14,200,000株	2022年3月期	14,200,000株
2023年3月期1Q	451,649株	2022年3月期	451,649株
2023年3月期1Q	13,748,351株	2022年3月期1Q	14,078,351株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、世界的な半導体不足及び原油高の影響が顕在化してきた中で、ウクライナ情勢の緊張が激化し、先行きの不透明感が極めて強まっている状況となっております。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は収束の見込みが立たず、先行き不透明な状況が続いております。

また、日本経済は、世界的な半導体不足及び原油高の影響のみならず、部品等の供給不足の影響を受けており、企業の設備投資も弱含んだ状況が続いております。なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資については、当第1四半期連結累計期間において、堅調に推移しておりますが、当社の主力顧客である中国企業の欧州や東南アジア等への海外進出が続いております。

また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、電動化の推進やカーボンニュートラルなどの世界的潮流への対応に注力するなか、電気自動車等の環境や省エネに配慮した自動車部品に対する製造・研究開発分野への投資が続いておりますが、半導体不足や各種素材の価格高騰などの懸念材料もあるため、設備投資については実施時期を慎重に検討されております。

このような経営環境の中で当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンとともに、研究開発用でありイニシャルコストとランニングコストの低減が見込める電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車部品メーカー向けの電気サーボモータ式振動試験機等の受注を獲得いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高10億5千6百万円（前年同四半期比68.8%減）、営業損失5億6千3百万円（前年同四半期は3億2千8百万円の利益）、経常損失3億4千5百万円（前年同四半期は3億4千9百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億3千3百万円（前年同四半期は2億1千7百万円の利益）となりました。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う客先との納期調整や海上輸送船舶及びコンテナ不足に伴う輸出待ちは継続しており、アジアのタイヤメーカーを中心としたバランスングマシンの売上が減少したことや、国内向けの電気サーボモータ式振動試験機の売上が減少したため、前年同四半期と比較して減少しております。利益面につきましては、減収の影響により、前年同四半期と比較して減少しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

[日本（国際計測器株式会社）]

主に海外向けバランスングマシン及び国内向け電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少したため、全体として出荷・検収は減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	7億8千万円（前年同四半期比74.5%減）
経常損失	2億8千8百万円（前年同四半期は5億3千4百万円の利益）

[日本（東伸工業株式会社）]

電力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が減少し、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	4千2百万円（前年同四半期比4.4%減）
経常損失	1千6百万円（前年同四半期は1千4百万円の損失）

[米国]

米国の自動車メーカー及びタイヤメーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加したものの、経常損失となりました。

売上高	1億3千万円（前年同四半期比183.9%増）
経常損失	2千4百万円（前年同四半期は6千6百万円の損失）

[韓国]

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少し、電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	2億5千4百万円（前年同四半期比57.1%減）
経常利益	0百万円（前年同四半期比99.8%減）

[中国]

中国国内のタイヤメーカーへのバランスングマシン及び自動車関連メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加したものの、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	1億1千万円（前年同四半期比41.0%増）
経常利益	4百万円（前年同四半期比52.9%減）

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、180億2千1百万円（前連結会計年度末比6億5千万円増）となりました。これは、売上債権の回収や売上の減少により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比4億3千7百万円減）したものの、第2四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比9億8千3百万円増）したことや、部品納期の長期化に備えた仕入の増加により原材料及び貯蔵品が増加（前連結会計年度末比6千7百万円増）したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、69億9千9百万円（前連結会計年度末比9億2千5百万円増）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことなどにより未払法人税等が減少（前連結会計年度末比1億6千7百万円減）したものの、仕入が増加したことにより支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比3億2千1百万円増）したことや受注の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比5億8千9百万円増）したこと及び運転資金拡充のため借入を実行したことにより1年内返済予定の長期借入金が増加（前連結会計年度末比1千6百万円増）したこと及び長期借入金が増加（前連結会計年度末比5千8百万円増）したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、110億2千2百万円（前連結会計年度末比2億7千5百万円減）となりました。これは、為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比1億8千9百万円増）したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比4億7千万円減）したことや、保有する株式の時価下落に伴いその他有価証券評価差額金が減少（前連結会計年度末比1千7百万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、第2四半期以降の業績については計画通りに推移すると見込まれており、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループとしては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を正確に予測することは困難な状況にあります。我が国を含む海外諸国の多くで経済活動再開のためにワクチンの接種が進み始めていることから、当連結会計年度中には人の移動制限が大幅に緩和されるものと想定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,453,522	5,507,017
受取手形及び売掛金	3,208,895	2,771,621
商品及び製品	636,721	510,173
仕掛品	1,841,569	2,824,611
原材料及び貯蔵品	657,087	724,449
その他	346,812	287,527
貸倒引当金	△3,348	△3,591
流動資産合計	12,141,259	12,621,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,119,108	3,141,603
機械装置及び運搬具	229,484	234,073
土地	1,305,594	1,307,095
リース資産	3,036	3,036
その他	305,451	364,732
減価償却累計額	△1,961,924	△2,015,685
有形固定資産合計	3,000,749	3,034,855
無形固定資産		
その他	61,247	59,598
無形固定資産合計	61,247	59,598
投資その他の資産		
投資有価証券	373,011	347,672
繰延税金資産	63,257	67,613
保険積立金	1,309,773	1,313,553
その他	667,221	902,059
貸倒引当金	△244,559	△325,185
投資その他の資産合計	2,168,704	2,305,713
固定資産合計	5,230,701	5,400,167
資産合計	17,371,961	18,021,977

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,322,340	1,643,870
短期借入金	1,432,000	1,566,700
1年内返済予定の長期借入金	474,186	490,880
未払法人税等	218,122	50,931
賞与引当金	87,536	151,883
製品保証引当金	132,888	108,274
前受金	961,427	1,551,007
その他	372,455	324,148
流動負債合計	5,000,956	5,887,696
固定負債		
長期借入金	570,668	629,608
繰延税金負債	103,524	36,577
役員退職慰労引当金	167,696	170,016
退職給付に係る負債	213,150	226,599
資産除去債務	17,960	18,033
その他	-	31,150
固定負債合計	1,072,999	1,111,985
負債合計	6,073,956	6,999,681
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	9,036,725	8,566,054
自己株式	△327,223	△327,223
株主資本合計	10,669,002	10,198,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219,527	201,927
為替換算調整勘定	239,763	429,437
その他の包括利益累計額合計	459,291	631,364
非支配株主持分	169,711	192,601
純資産合計	11,298,005	11,022,295
負債純資産合計	17,371,961	18,021,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	3,388,829	1,056,579
売上原価	2,236,617	890,794
売上総利益	1,152,211	165,785
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	54,587	8,486
貸倒引当金繰入額	-	80,823
役員報酬	96,775	98,425
給料手当及び賞与	171,249	172,765
賞与引当金繰入額	25,621	26,077
退職給付費用	4,389	8,717
役員退職慰労引当金繰入額	2,120	2,320
運賃	142,860	40,155
減価償却費	7,648	8,443
研究開発費	13,609	14,224
その他	304,516	268,854
販売費及び一般管理費合計	823,379	729,294
営業利益又は営業損失(△)	328,832	△563,508
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,645	11,541
為替差益	12,919	192,393
貸倒引当金戻入額	2,657	-
その他	2,684	19,488
営業外収益合計	24,907	223,423
営業外費用		
支払利息	2,689	3,063
売上債権売却損	281	546
支払手数料	1,061	1,153
保険解約損	324	194
その他	0	0
営業外費用合計	4,356	4,958
経常利益又は経常損失(△)	349,383	△345,043
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	349,383	△345,043
法人税、住民税及び事業税	160,692	38,198
法人税等調整額	△31,714	△60,093
法人税等合計	128,978	△21,894
四半期純利益又は四半期純損失(△)	220,405	△323,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,074	10,038
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	217,331	△333,188

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	220,405	△323,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,493	△17,600
為替換算調整勘定	74,479	202,524
その他の包括利益合計	137,972	184,923
四半期包括利益	358,378	△138,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350,909	△161,115
非支配株主に係る四半期包括利益	7,468	22,889

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間より、ASC第842号「リース」を適用しております。

これにより、当該在外連結子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、使用权資産は有形固定資産の「その他」が53,537千円、リース負債は流動負債の「その他」が22,386千円、固定負債の「その他」が31,150千円、それぞれ増加しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
バランスングマ シン	2,323,721	—	5,391	265,054	9,684	2,603,851	5,784	2,609,636
電気サーボモー タ式振動試験機	320,209	—	—	94,223	—	414,432	—	414,432
材料試験機	—	38,300	—	—	—	38,300	—	38,300
シャフト歪自動 矯正機	49,669	—	—	5,892	—	55,561	—	55,561
その他	160,545	—	40,186	33,552	26,791	261,076	9,821	270,898
顧客との契約か ら生じる収益	2,854,145	38,300	45,578	398,722	36,476	3,373,223	15,606	3,388,829
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	2,854,145	38,300	45,578	398,722	36,476	3,373,223	15,606	3,388,829
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	200,711	6,300	216	195,494	41,907	444,630	31,125	475,756
計	3,054,857	44,600	45,795	594,217	78,384	3,817,853	46,731	3,864,585
セグメント利益 又は損失(△)	534,449	△14,116	△66,990	84,390	9,297	547,029	17,799	564,828

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	547,029
「その他」の区分の利益	17,799
セグメント間取引消去等(注)	△215,444
四半期連結損益計算書の経常利益	349,383

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が166,511千円含まれております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
バランスングマ シン	400,074	—	95,060	57,523	12,028	564,687	14,670	579,358
電気サーボモ ータ式振動試験機	110,360	—	—	3,205	27,328	140,895	4,309	145,204
材料試験機	—	36,326	—	—	—	36,326	—	36,326
シャフト歪自動 矯正機	29,356	—	—	—	32,808	62,164	—	62,164
その他	155,321	—	34,501	18,755	5,168	213,747	19,778	233,525
顧客との契約か ら生じる収益	695,112	36,326	129,561	79,484	77,334	1,017,821	38,758	1,056,579
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	695,112	36,326	129,561	79,484	77,334	1,017,821	38,758	1,056,579
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	85,388	6,300	458	175,476	33,151	300,774	58,605	359,379
計	780,500	42,626	130,020	254,960	110,486	1,318,595	97,364	1,415,959
セグメント利益 又は損失(△)	△288,220	△16,902	△24,730	135	4,383	△325,333	56,917	△268,415

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△325,333
「その他」の区分の利益	56,917
セグメント間取引消去等(注)	△76,627
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△345,043

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が52,794千円含まれております。

## 3. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	575,071	△77.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	186,176	△55.1	日本(国際), 韓国
シャフト歪自動矯正機	62,164	+11.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	36,326	△5.2	日本(東伸)
その他	196,841	△28.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	1,056,578	△68.8	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## (2) 受注状況

## ①受注高

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,030,367	+27.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	604,453	+70.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	48,179	△59.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	120,569	△46.4	日本(東伸)
その他	424,903	+39.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	3,228,474	+24.3	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## ②受注残高

当第1四半期連結累計期間末(2022年6月30日)

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	7,083,951	+17.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,082,397	△10.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	420,117	+16.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	158,912	△30.9	日本(東伸)
その他	256,420	+438.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	10,001,800	+11.3	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## (3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	593,511	△77.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	186,175	△55.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	62,164	+11.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	36,326	△5.2	日本(東伸)
その他	178,402	△34.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	1,056,579	△68.8	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。